

平成 27 年度教職大学院派遣研修研究報告書

派遣者番号	管 27K06	氏 名	羽賀 絹恵
研究主題 —副主題—	若手教員を育てる主任教諭の育成 —使命感や役割意識の現状と課題解決に向けて—		
所属校	豊島区立池袋本町小学校	派遣先	帝京大学教職大学院

項 目	内 容
I 研究の目的	<p>平成 20 年前後から、いわゆる団塊の世代の大量退職に伴い若手教員の大量採用が始まった。校種によっては、学級担任の半数以上を若手教員が占める状況が生じ、若手教員が職場の中で、先輩からの助言で教員としての指導力や指導法を身に付けることが難しくなった。現在でもその状況は継続しており、若手教員の育成が喫緊の課題となっている。</p> <p>東京都では公立学校の管理運営に関する規則を改正し、職の分化を進め、平成 21 年度から特に高度の知識または経験を必要とする教諭の職として「主任教諭」職を設置した。主任教諭の主な役割の一つとして「同僚や若手教員への助言・支援などの指導的役割を果たすこと」が挙げられ、若手教員の育成に関して主任教諭に大きな使命が求められるようになった。</p> <p>平成 27 年 2 月に一部改正された東京都教員人材育成基本方針では、教員全体の授業力の向上を図る上では指導教諭に一定の責任や期待を示している。しかし、若手教員の育成に焦点を当てて考えると、若手教員にとって、管理職や主幹教諭・指導教諭よりも年齢が近く身近な存在である主任教諭が、教員全体の授業力の向上に果たす役割は大きく、主任教諭に寄せられる期待は大きい。</p> <p>そこで、この主任教諭の存在に着目し、主任教諭が若手教員への助言・支援などの指導的役割を担うための現状と課題解決に迫りたいと考え、本研究主題を設定した。</p>
II 研究の方法	<p>1 主任教諭対象の実態調査</p> <p>東京都 A 区内 173 名の主任教諭を対象に、若手教員の育成に関する意識調査を行った。主任教諭の日頃の職務における学校経営参画意識、若手教員の育成意識、自身の教員としての成長意識等を把握することをねらいとし、四件法と記述式を用いた。その後、分析ソフト SPSS を用いてクロス集計や因子分析を行った。</p> <p>2 校長対象の面接法調査</p> <p>東京都内公立小学校長 15 名を対象に、日頃の学校経営における若手教員や主任教諭の育成方法・実態・困り感等を知るために面接法調査を行った。</p> <p>3 リフレクション（省察）の手法を用いた学年会の実施</p> <p>(1) 1・2 の調査を踏まえ、学年会の時間にリフレクションの手法を用いて若手教員の育成を行うことが、若手教員の育成にも主任教諭の育成にもつながるのではないかと考え、学校現場において試行した。都内 A 区立 B 小学校第 1 学年担任 3 名を対象として、学年会の中で ALACT モデルの手法を用いてリフレクション（省察）を行い、逐語記録を取って分析した。</p> <p>(2) 「若手教員も主任教諭も力を伸ばす『学年会におけるリフレクションガイド』」を作</p>

	成した。
III 研究の結果	<p>1 主任教諭の職務遂行意識の実態 (回収率 35.8% (62 名))</p> <p>主任教諭の大半は、若手教員の育成について自らの職務であることを理解していることが明らかになった。また、日々の職務を遂行する中で、若手教員の育成に取り組んでいるが、教員経験の浅い主任教諭の中には、具体的にどのように取り組めばよいのか悩んでいる人もいたことが分かった。管理職や主幹教諭よりも、若手教員に年齢が近く日常的に近くで接することの多い主任教諭に、OJT の中で期待される役割は大きい。</p> <p>2 校長の主任教諭に対する期待・若手教員育成上の課題</p> <p>校長先生方は日々の学校経営の中で主任教諭の努力を認め、その活躍に大いに期待していることがわかった。期待する内容は様々であるが、自他の授業力の向上や学年経営が主であり、その職務遂行過程において人材育成の要素は欠かせない。さらに、校長は若手教員育成のための研修会は有効であると考えている方が多く、できれば行いたいと考えている。しかし、どの学校でも時間の確保や講師と成り得る人材の確保が課題であった。</p> <p>そこで、研修会の時間を特別に設定しなくても、日常的に行っている学年会の中で行うことで、自他の授業力の向上やよりよい学年経営のために主任教諭にとって助けとなるようなガイドを作成する必要があると推察した。</p> <p>3 若手教員を育てる主任教諭育成ガイドの作成</p> <p>都内A区立B小学校第1学年における学年会の様子を逐語記録に起こし、ファシリテーターであるH主任教諭の発言を、質問、確認、同調など、20項目に分類・整理してみると、相談者の考えを掘り下げるような質問や担任三人の一体感を演出するような発言が増えていく傾向が見られ、相談者である若手教員の悩みを解決に導くと共に、主任教諭自身も学年主任として成長する様子が見えてきた。これらの分析結果や実施後の参加者の感想等を基にして、誰にでも学年会におけるリフレクション(省察)に取り組んでもらえるように「若手教員も主任教諭も力を伸ばす『学年会におけるリフレクションガイド』」を作成した。リフレクションの手法や役割分担、時間設定、進める上での注意事項等について解説した。</p>
IV 考察	<p>1 成果</p> <p>(1) 主任教諭の実態調査からの課題提言</p> <p>(2) 若手教員の育成における主任教諭の果たす役割への期待の大きさの確認</p> <p>(3) 学年会における若手教員育成のためのリフレクション(省察)の実施</p> <p>2 課題</p> <p>(1) A区を対象とした本調査の普遍妥当性</p> <p>(2) 小学校における、学年会にリフレクション(省察)を取り入れたプログラムの更なる有効性の検証</p>